人類に
奉仕する
ロータリー

John
ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.３３
Takasago Rotary Club 週　報
高砂

クラブ会長方針

“すばらしい仲間を持とう”
① ロータリーは親睦から
② 利他の心を持とう
③ フィロソフィを持とう

例　会　記　録（2017. 3. 24（金））　通算3,117回

◆開　会

◆唱　歌　ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

３月３１日（金）	４月７日（金）	４月１４日（金）	４月２１日（金）
卓話「争続対策」 高石耕吉 様（弁護士）	卓話「自己紹介」 石垣政昭 会員	卓話「決算書の見方・使い方」 澤木俊昌 様（税理士）	移動合同例会 高砂青松RCとの 献血例会

◆出席報告

本　日３月２４日　　会員数３９名　　　出席者２３名　　出席率　６７.６４％
前々回３月１０日　　会員数３９名　修正出席者３９名　　出席率１００.００%修正

◆ＭＡＫＥ－ＵＰ

佐野　敏晴会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月２０日（３月２４日）
堀　　直樹会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月２１日（３月２４日）
大久保義郎会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月２０日（３月１５日）
石垣　政昭会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月１９日（３月２４日）
石垣　政昭会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月１９日（３月３１日）
森本　幸吉会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月１９日（３月２４日）
本庄　幸保会員	ｅ－ＣＬＵＢ	３月１７日（３月１５日）

◆Ｓ．Ａ．Ａ．（ニコニコ箱報告）

信原　智彦会員……滋野様、入会予定者をゲストにお迎えして。
中野　哲郎会長……鎌谷会員、本日の自己紹介の卓話よろしくお願いします。
滋野さん、ようこそ。

◆幹事報告（３，１１７回）

〈国際ロータリー日本事務局より〉
◎『アトランタ国際大会と信任状』
◎『２０１７年ロータリー国際大会：投票代議員用の書類』

〈ガバナー事務局より〉
◎『クラブ奉仕セミナーの開催について』

〈例会変更のお知らせ〉
◎姫路南ロータリークラブ
４月３日(月)「社会奉仕フォーラム」
「第３回ほろにが会」
１６：００～社会奉仕フォーラム
１７：３０～例会
１８：００～第３回ほろにが会
於：姫路神社

豊田克義幹事

◎姫路中央ロータリークラブ
４月　６日(木) →　５日(水)「お花見例会」篠山方面
４月２７日(木) → ２９日(土・祝)　１０：３０～
「２０１７年地区研修・協議会」
於：神戸ポートピアホテル

◎明石西ロータリークラブ

４月　６日(木) → １５：３０～２１：００「会員家族花見例会」
於：姫路城、セトレハイランドヴィラ姫路

５月　４日(木) → 祝日・休会

６月　１日(木) →「職場例会」於：サントリーヤマザキ蒸留所

６月２９日(木) → 休会

〈その他〉

◎姫路中央ロータリークラブより『２０１７年４月の例会プログラム予定』

◎東播磨地域ビジョン委員会より『「東播磨きらっとVision（第９号）」について』

◎ステップハウスより『Step Go No.53』

◆会長の時間

女子プロゴルフの隆盛と男子プロの凋落について

中野哲郎会長

昨日、宮崎の女子プロトーナメント「アクサレディース」プロアマに宮崎県のＵＭＫ宮崎カントリークラブに行って楽しんできました。

華やかな雰囲気で和めました。

何故、女子プロがこんなに人気になったのでしょうか。

女子プロ人気は何と言っても女子プロ協会の樋口前会長をはじめとする協会の努力だと思います。それも樋口前会長をはじめとする理事スタッフの危機感があってのことだと思います。

当社のフィロソフィにも「強い危機感をもつ」というのがありますので聞いてください。

危機感をもつとは、最悪を想定し、最善を尽くすということです。もし強い危機感をもつと、このままではいけないということに氣づき、問題解決に自ら向かっていけます。

それは、当事者意識をもって、この危機を脱するには何をすべきかを自ら考え、上司・同僚を巻き込み、会社全体で打開していこうとするからです。

不平不満を並べているだけでは、事態は何ら変わりません。今まで常識だと思ってきたやり方が拙(まず)かったので、こんな結果になったと素直に認め、今までの常識を覆(くつがえ)すことにチャレンジし、事態を改善することが大事です。

常に強い危機感をもつこととは、「これでええんか⁉」と自問自答し、自ら積極的に問題を解決していくことです。問題が起こってからでは遅いのです。ヒヤリハットの段階から問題の未然防止策を打ち続けていくのです。

私達は、たとえ業績がよいときであっても、強い危機感をもって取り組んでいくのです。以上です。

女子プロゴルフの今年度は、試合数３８、賞金総額３７億１，５００万円、対して、男子は海外開催を含めて２６試合、賞金総額も３５億９，４７５万円です。それは、なぜなのかが以下で解説していますので聞いてください。何年か前のレポートですが、現状は変

わっていません。
　女子プロは人気低迷して試合数も減った時代があったにも関わらずここまで人気を復興したのは、藍ちゃん、さくらちゃんのブームだけではないはずです。たとえば、「プロテストに合格するとお顔のメイクアップやマスコミ取材時の対応など教育を徹底しているので気持ちの良いプロが増えた」「女性らしいファッションで華やかな演出をしている」「サービス精神溢れる試合会場」というお話に楽々も納得、同感でした。
　試合観戦に行っても「選手のファッションは楽しいし、樋口会長以下のサービス精神に感激しましたし、言葉遣いも中々立派」です。
　協会の支配下選手を育てるということから、プロテストに合格して協会の会員になるには「教育」を徹底しているのですが、その効果もあってマスコミ、テレビでの露出に耐えられる選手が出てきたのが大きいと言っておられました。
　もちろん試合内容も良くなってきたのですが・・・・
　そして、低迷を続ける「男子プロゴルフ」について辛口の論評をされてました。
　この原因は絶頂期の「尾崎軍団にある」とのお説でした。
　長く試合の主催をしていたある有名な企業所有のコースで開かれた試合・・
　狭く、難しい設定で尾崎将史プロなどはＯＢを打つ苦手とするコースだったのだそうですが、尾崎軍団の選手が全員試合をキャンセルして出場しなかったそうです。
　怒った主催者は翌年から試合の主催を降りてしまったとのお話でした。
　日本での第一次ゴルフブームは先日亡くなられた中村寅吉さんらのカナダカップの優勝に始まり、第二次ゴルフブームは「青木、尾崎」のＡＯで作られたといってよいでしょう。青木功プロは海外に活路を求めて今も活躍しています。
　対する尾崎プロは、兄弟や軍団と言われるプロ集団を率いての試合態度など決して高い評価を受けていません。昨年も夏の試合にボランティアとして参加された方のリポートを見ると情けない思いがします。
　ジャンボ尾崎選手も個人的には家屋敷を奪われて苦境にあるのも知っています。しかし、選手としての態度がいけません。ファンを大切にするという精神が欠如してますね。
　ジャンボ尾崎の凋落は、契約していたブリヂストンとの契約破棄から来ているように思います。天下の優良メーカーを相手に戦ったのが不味かったですね。
　男子プロの隆盛と凋落を反省材料としてるのが現在の「女子プロ協会」だと思います。我々も何度か触れてますが、ＰＧＡとＪＧＴＯという２つの組織に割れているようでは男子プロには救いがないような気がします。今年は石川遼選手を迎えて人気がでるような予想をしている向きもありますが・・・ＪＧＴＯの総会には１０数人しか参加していないようなので危機感がありませんね。
　女子プロ協会には、遠隔地からでも皆さん参加されているようです。
　人気低迷と人気高騰の差ではありましょうが、男子プロには革命的改革を自らしないとジャンボ尾崎の残した悪影響を払拭することは難しいでしょう。
　正直に気持ちを言えば、オフシーズンにテレビのゴルフ番組に出てくる男子プロに「品格」を感じないのです。

品格を感じないのは、態度、言葉が主なんでしょうが、テレビの恐さは一瞬でその人の内面を見せるからではないでしょうか？

片山晋呉や池田勇太の態度では、まだまだ男子プロは低迷期が続くのではないでしょうか？

青木、倉本両会長は、女子プロに学べと頑張っていますが、その影響は男子シニアプロに出てて、シニアの試合の方が観客が多い時があるのが現状です。海外で活躍している松山英樹プロや石川遼プロのような選手が国内を盛り立てて欲しいものです。そういえば、先日、重永亜斗夢というツアープロとラウンドしました。さわやかでとても気持ち良かったです。

◆本日のプログラム

卓話「自己紹介」 鎌谷雅彦会員